

着帯の祝いと安産祈願

子宝に恵まれたことを神さまに感謝し、妊娠五ヶ月目の戌（いぬ）の日に着帯の祝いを行います。

戌の日が選ばれるのは、犬の安産にあやかると言われ、妊婦は赤ちゃんが岩のように丈夫に育ちますようにとの意味の込められた「岩田帯^{いわおび}」をします。そして、母体の安全と無事に赤ちゃんが生まれることを願って安産祈願をします。



● 地方によっては、産土さまに安産祈願のお参りをした時に、境内にある小石を持ち帰ってお守りにし、お七夜が過ぎると元の場所にもどしに行く風習があります。

● 出産のときに^{ほうき}箒を立てると安産だという言い伝えがあるのは、箒の実用性から、災いを払い靈魂をかき集める神聖な道具であると考えられたからです。